



種名：アカヒレタビラ *Acheilognathus tabira erythropterus*

分類：在来種 環境省：絶滅危惧IB

純淡水魚 茨城県：絶滅危惧IB

千葉県：最重要保護生物

## ○大きさ

- ・成魚：6～10cm

## ○生息箇所(すみか)

- ・利根川下流部や霞ヶ浦や関東平野に広く生息しています。
- ・流れの緩やかな場所を好みます。

## ○生態(どんな生活をしているか)

- ・雑食性(ざっしょくせい)で付着藻類(石等に生えるも)や小型の底生動物(アカムシやケンミジンコ等)を食べる。
- ・口に1対(いっつい)の短いひげがあり、背びれとしりびれのふちが赤いのが特徴です。
- ・春から初夏(4～6月)に大型のイシガイの中に卵をうみつけます。
- ・タイリクバラタナゴ等との競合や産卵母貝の減少で数が減っています。

## ○釣りや漁業

- ・超小型(ちょうこがた)の針と仕掛けを使う繊細(せんさい)な釣です。微妙なウキの動きであたりをとるのが醍醐味といわれています。
- ・漁業や水産利用(すいさんりよう)はありません。

## ○地域利用

- ・見た目の美しさから観賞用(かんしょうよう)に飼育されることがあります。食用としては活用されていません。
- ・全国的に重要種(希少種)として保護対象になっています。